

# 養護施設児童の就労支援を実現

公明党 鈴木ひでし

今年6月の神奈川県議会

本会議において、黒岩祐治知事に対し訴えていた、「児童養護施設で育った子ども

たちへの就職支援」が間もなく形となります。

県は現在、児童養護施設を退所した子どもの就労にまつわる課題を解消しようと、関係機関で協議する「施

設退所児童のための就職支援検討会（仮称）」の設置を進めており、年明けの発足を目指しています。

ですが、施設で育った子どもたちの中には、例えば虐待など、親から十分な愛情を注がれなかったケースも多く、自分に自信がない、周囲に支え役の大人がいないなど、自立のために多くの障害を乗り越えなければなりません。

希望は約7割に上ります。

その中、これまで県は施設を退所した子どもの社会的自立を支援するため、社会福祉法人白十字会林間学校に事業を委託し、2014年、「あすなるサポートステーション」（藤沢市）を開

援を行ってきました。しかしながら、「あすなる」では、①理解のある事業主と退所者を結びつける仕組みがない、②事業主に退所者を理解してもらう場や機会がない、③就労と住む場所が同時に確保できない——といった現実の力べに直面していました。

県主体の検討会は、ハロワーワークを所管する厚生労働省神奈川県労働局とあすなる等で構成。①退所者と事業主とのマッチングのあり方、②退所者の特徴や配慮すべき点などを事業主に理解してもらうための取組、③就労と住居の確保を合わせて進める方策——などについて話し合う方針です。

その背景には、雇用企業が、施設を出て自立する子どもたちが抱える課題を理解できていないことや、雇用先と子どもたちをマッチングさせる仕組みがないことなどがあります。

検討会で具体的な支援を考えていくことになり、来につながらるよう、取組を見守るとともに、全国に広がるよう応援して参ります。

## 自立支える検討会

そこで私は、本会議で、「児童養護施設の児童を雇った」という企業を県が募集



神奈川県議会議員4期  
環境農政常任委員会/安全安心推進特別委員会  
HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>  
FB <https://www.facebook.com/turumi.hideshi.suzuki>  
TW [https://twitter.com/suzuki\\_hideshi](https://twitter.com/suzuki_hideshi)  
ML [ml\\_suzuki-cti@labo2.sere.jp](mailto:ml_suzuki-cti@labo2.sere.jp)

「あすなるサポートステーション」（藤沢市）を開設。子どもたちの就労支